

# ケミカルトランスポート株式会社

の巻

こんにちはは健保組合です！

今年の夏は記録的に雨が少なく、首都圏各地でも給水制限が行われました。わが千葉県でも、地域によっては深刻な状況だったようです。当然、各家庭の蛇口まで水を供給する水瓶も例年になく干上がり、無尽蔵にあると思いがちな水の大切さをあらためて思い知った夏でした。

そんな長かった夏も終わり、朝晩にはすっかり秋の気配が漂い始めた九月十日、第三回目の事業所訪問としてお邪魔したのは、市川市に所在するケミカルトランスポート株式会社でした。

この日は、あいにく(前述したような状況のもとでは「幸いにも」というのでしょうか)、空はご機嫌斜めで、朝から雨が降っていました。

## 国道三五七号に近く 物流の絶好地

私たち事務局は、今日の目的地へと車を走らせました。お邪魔するケ

ミカルトランスポート株式会社は、平成六年の終わりがらまで市川市田尻に本社がありました。のちにお聞きしたところによると国道ランプの建設に伴い現在の原木に移転されたそう、国道三五七号からほど近く、物流には絶好の場所に本社はあり、本社屋は、広い敷地のなかにあり、車両整備工場、タンク乾燥設備、タンククリーニング設備、立体自動倉庫等がその敷地内に建設されています。

私たちが車を降り、本社事務室に入ろうとすると、わざわざ玄関先まで黒沼さん(健康管理事業等推進委員・体育奨励部会所属)が出迎えてくださり、二階の社長室へ案内してくださいました。

今日の取材には、お忙しいなか日程を調整いただいた田村社長が応じてくださいました。



田村社長

ミカルトランスポート株式会社は、平成六年の終わりがらまで市川市田尻に本社がありました。のちにお聞きしたところによると国道ランプの建設に伴い現在の原木に移転されたそう、国道三五七号からほど近く、物流には絶好の場所に本社はあり、本社屋は、広い敷地のなかにあり、車両整備工場、タンク乾燥設備、タンククリーニング設備、立体自動倉庫等がその敷地内に建設されています。

私たちが車を降り、本社事務室に入ろうとすると、わざわざ玄関先まで黒沼さん(健康管理事業等推進委員・体育奨励部会所属)が出迎えてくださり、二階の社長室へ案内してくださいました。

## 全ドライバーを対象に 安全教育「危険物取扱い」 の資格を早期に取得

同社は、昭和三十六年十二月に母

「危険物取扱い」の資格を皆さんが意欲的に、しかも早期に取得されており、ものすごいプロ意識をもって仕事にあたられていることに、着任された田村社長も驚いておられました。

## 福利厚生 の充実 高い従業員の定着率

このような安全衛生管理が行き届き、従業員の定着率も高い職場で、氏がこれから力を入れていかなければならないとおっしゃったのは、「福利厚生の充実」ということでした。

私たちの健康保険組合の事業所対抗野球大会に、同社の野球部は常連として出場していただいておりますが、そのほかの活動は特段されていらないということでした。勤務形態の関係上、全社員をあげて何かをするということは難しいようですが、健康管理、メンタルヘルスのためにも効果的に福利厚生を充実しなければとお考えのようでした。

取材も終わりに近づき、田村社長に組合の現状説明を申し上げると、厳しい組合財政を憂慮されて、まもなく実施されるであろう選挙について若干触れられ、長期安定政権樹立後、国民にわかりやすい説明のうえで、社会保障についても相当の負担

体企業である東洋合成工事株式会社の運輸部門としてスタートされたこと。その後、石油化学工業の目覚ましい発展とともに、急速に増加した輸送需要に対応し、昭和四十年に液体化学品輸送の専門業者として独立されたそうです。輸送する品物の特殊性から、ステンレスタンクローリー車を導入されており、そのメンテナンスにはかなり気をつかわれているようです。石油化学製品を輸送する際、前に運んだ製品の混入を絶対に避けるため、タンク内を洗浄し、乾燥させてから次の輸送に移るのだそうです(ここで、前述しました、いろいろな設備の使途が判明しました)。

田村社長は、こうした作業が必要のため、この業界では常識の「帰り荷」が得られないことがウイークポイントであるとおっしゃいましたが、その対策のため営業所を他県にも設け、そこで洗浄等のメンテナンス作業をし、実車率の向上を図られているようです。

このように、同社はいわゆる「危険物」を輸送するため、社員の方々の教育には常に気を配られています。全ドライバーを対象に安全教育を徹底しておられ、ときには消防関係の

をすることも大切だとおっしゃいました。こうして終始穏やかに、しかもこの特殊な運送部門についてわかりやすくお話しいただいた田村社長との懇談もタイムリミットを迎えました。着任して間もないと冒頭謙遜されましたが、私たちに、景気の低迷が長期化するなか、いつも斬新な企業戦略を念頭におかれ、輸送コストの低減、市場ニーズに即した対応を行い利潤を追求していく姿勢に、経営者としての厳しさを感じさせられました。

氏は、車通勤のため、できるだけ自宅周辺で散歩やジョギングをするよう心がけていらっしゃるそうですが、その姿勢同様、約三〇年が経過

したケミカルトランスポートも一歩一歩着実にその基盤を固めていかれ、化学物流分野の第一人者としてますます発展していかれることでしょうか。取材にご協力いただきました皆さん、ありがとうございます。

私たちが帰路につくころには、すっかり雨も上がり、太陽が顔をのぞかせていました。千葉県トラック健康保険組合は今年十一月で一〇周年を迎えます。ご承知のとおり高齢化社会の進展等によって、健保財政が圧迫されています。一〇周年を契機に、わが組合も「雨のち晴れ」となってくれることを切望します。